



豊橋からパナマへ

地域に密着した活動をしています

パナマは、北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の間にある北海道くらいの大きさで、人口約300万人のとても小さな国です。季節は雨季と乾季のみで、国のほとんどは熱帯気候です。日本でも有名なパナマ運河がこの国の経済を支えています。

青年海外協力隊、理学療法士隊員として、今年の1月にパナマにやってきました。首都、パナマシティは、豊橋よりもずっと都会で、びっくりしましたが、私の住んでいるボルカンという村は、首都からバスで10時間のとても小さくて、静かな村です。ボルカンというのは、火山という意味でこの村はボルカンバルーという富士山と同じくらいの高さの火山のふもとにあります。標高が高いため、パナマの避暑地として知られています。

日々の仕事は、この地域に住む障害をもった子どもたちのリハビリをすることです。主要都市まで2時間というアクセスの悪さや、貧困のため、十分な教育や医療を受けられない子どもたちがたくさんいます。住民や学校の先生と一緒に、子どもたちのリハビリをしています。スペイン語もまだうまく話せず、戸惑うことも多い毎日ですが、子どもたちの笑顔に支えられ、日々を過ごしています。地域に密着しているからこそできる活動の形を考え子どもたちの生活に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。



青年海外協力隊
竹内 梢さん(左端)

派遣先 パナマ
滞在期間 平成20年1月9日～
平成22年1月9日

JICAとは

独立行政法人国際協力機構のことで、開発途上国の人材開発や技術提供などを行っています。また、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの派遣なども行っています。



市民のひろば

情報提供

磯部 弘さん(☎0533・72・6791)



— お便利いただきました —

まちのこえ

「リフレッシュ会」に参加して 介護で疲れた心身をリフレッシュしませんか

「リフレッシュ会」は、自宅で両親あるいは伴侶などの介護に携わっている人たちの集まりで、介護で疲れた心身をリフレッシュすることを目的に6年前に発足しました。介護と同じような体験をしている人たちと話し合うことで気持ちが軽くなると思います。

定例の活動は年に6回、奇数月の第3金曜日の午前10時から正午頃まで八町通二丁目の市職員会館で、体験談や情報交換をしたり、市が主催する出前講座を聞いたり、時には介護士さんやケアマネージャーさんの話を聞いたりしています。また、年に一度、老人施設の見学も行っています。介護で悩んでいる方、1人で悩まず、「リフレッシュ会」に参加して色々な話をしてみませんか。参加料は無料です。また、介護に興味をお持ちの方や、介護士さん、ケアマネージャーさんなどに参加していただければ幸いです。

興味がある方は「リフレッシュ会」磯部までご連絡ください。

●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっといい話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください
広報広聴課(〒440-8501住所不要 ☎56・5711 ㊚ kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)

豊橋市内の4月の交通事故(人身)

[] は昨年同月、() は今年の合計

- 件数 291件 [325件] (1,086件)
- 死者 4人 [0人] (10人)
- 傷者 356人 [384人] (1,343人)

豊橋市の人口と世帯

(平成20年5月1日現在)

- 人口 384,835人(前月比890人増)
[男192,857人/女191,978人]
 - 世帯 148,074世帯(前月比766世帯増)
- ※このうち外国人は20,422人/11,797世帯

今月の納税

市県民税 第1期分
納期限 6月30日(月)

早めにお近くの金融機関(ゆうちょ銀行は口座振替のみ)またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。

問合せ先: 納税課 (☎51・2234)